

事業名称：令和4年度（公財）いしかわ女性基金調査研究事業

事業の目的：

この調査は、（公財）いしかわ女性基金が3年に1度参加者を募り、所定の要件を満たした団体に対して調査研究を委託して行うものです。

今年度は乳幼児を養育する家庭の防災への意識や困りごとをアンケート方式で伺い、現状分析を行うとともに、今後必要な方策や勉強会の内容に生かすことを目的として行います。

研究の題名：

「在宅避難に関する現状と課題～学齢期前の子どもを持つ保護者へのアンケートから～」

事業の内容：

日本は「地震大国」といわれ、地震災害への備えを主に行ってきました。

しかし近年は、気候の変化に伴い、豪雨や土砂崩れなどの災害も頻発しています。

また、感染症対策の必要性や、生活スタイルの多様化、人道的な生活環境整備の必要性により、多くの自治体で避難所の収容人数を見直すなどの改定を進めています。

それに伴い、国では、これまでの避難方法のメインとしていた「避難所避難」に加えて「分散避難」「在宅避難」も勧めています。

各自治体ではマニュアル整備や訓練を行っていますが、地域による格差が大きいことや、対象を高齢の要支援者としているケースが多く、未就学児を養育する家庭に焦点を当てているものは少ないと感じています。

当部会は助産師や看護師、子育て応援グループ団体の代表など、普段から子育てに関心の高いメンバーを有しています。今後の活動に役立てたいとの意見から、これらの問題について実態調査を行うこととなりました。

調査方法：

独自のアンケート内容を紙媒体で配布し、回答後は担当者に提出・または郵送していただくか、QRコードアンケートでの読み取りをお選び下さい。

またご記入いただいた内容は、無記名の上すべて統計的に処理いたしますので、個々の方の回答内容や個人情報特定されることは一切ありません。

QRコードアンケートはこちら↓↓

調査研究結果の公表：公益財団法人 いしかわ女性基金ホームページ

<https://www.ishikawa-jyosei-kikin.or.jp>

2023年4月以降にこちらでの公表となります。



## 在宅避難研究部メンバー

### 代表

- ・河岸仁子 合同会社カノン代表 病院で25年看護師として勤務  
災害対策委員会を立ち上げ、火災訓練や災害訓練の企画担当者として15年の実績あり  
在宅避難のための環境改善の提案 災害対応マニュアルやBCP作成実績あり

### メンバー

- ・横浜 恵 医) 横浜外科整形外科医院理事  
NPO 法人石川県防災士会会員 看護師  
かなざわコミュニティネットワーク防災士 女性・福祉推進部常任委員  
医療職の傍ら防災士として石川県内～金沢市各地にて学校防災教育、コミュニティ各所で防災普及活動、出前講座、金沢市では弱者視点に重きを置く防災士育成に携わる
- ・川島真希 開業助産師 まき助産院 院長  
白山市子育て世代包括支援センター（基本型）相談員  
（一社）石川県助産師会理事 にじ♡はぐ石川 副代表 民生児童委員  
地域で子育て支援を行う開業助産師。思春期を中心に子どもたちから大人まで、すべての方々を対象とした性教育、子育てに関わる世代の相談支援を行っている。
- ・清水奈津美 子育て応援ボランティアグループ のみ♡子育てネットワーク代表  
子育て世代の防災を考える会 NPO 石川県防災士会会員  
障がい者世帯の集まりの場『ゆるにこサロン』、『まるにこ親子のひろば』  
未就園児、未就学児に関わる仕事をしながら、能美市内にて子育て応援イベントやサロンなどを開催。地域で防災士として活動。グループ内で「子育て世代の防災を考える会」を立ち上げ、勉強会、啓発を模索中。

### アドバイザー

北陸学院大学人間総合学部 社会学科 田中純一教授

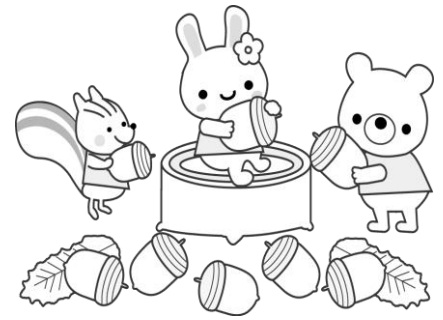
※本アンケートに関するお問い合わせがございましたら下記までお願いいたします。

合同会社カノン（インスタグラム：kanon\_llc0112 メールアドレス：[info@kanon-llc.com](mailto:info@kanon-llc.com)）

調査委託元 石川県女性センター 電話番号 076-234-1112

令和4年度（公財）いしかわ女性基金調査研究事業

## 子育て世代の防災に関する意識調査



1. あなたとご家族のことについて伺います。

1-1 あなたの現在の年齢を教えてください。(〇は1つ)

- ①20~29歳      ②30~39歳      ③40~49歳      ④それ以外

1-2 どのような家に住んでいますか。

- ①平屋      ②2階建て      ③集合住宅(1~5階)      ④集合住宅(6階以上)      ④その他(      )

1-3 そのお住まいには何年住んでいますか(端数は切り捨て)

- ①1年未満      ②1~5年      ③6~10年      ④それ以上

1-4 一緒に住んでいる18歳以上の方(大人)は、あなたを含めて何人ですか。

- ①1人      ②2人      ③3人      ④それ以上

1-5 あなたが現在一緒に暮らしているお子様のうち、未就学の方は何名ですか。(〇は1つ)

- ①1人      ②2人      ③3人      ④それ以上

1-6 あなたが日頃から、主に子育てに関して相談する場所・人について、三つお選びください。

- ①親      ②親族      ③友達      ④アプリ      ⑤保育士      ⑥支援センター員  
⑦地域(町会)の人      ⑧近所の人      ⑨その他(      )

2. 災害時の避難の方法についてお聞きします。

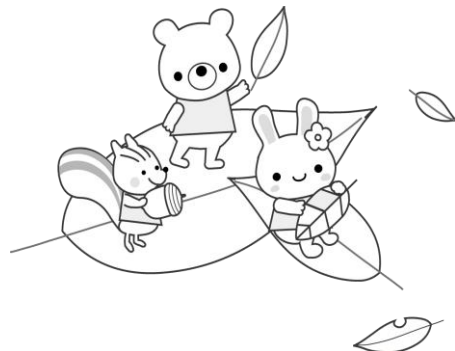
2-1 在宅避難という言葉を知っていますか。

- ①言葉の意味を理解している      ②言葉は知っており、興味がある  
③言葉は聞いたことがあるが内容はよくわかっていない      ④知らない

※①~③と回答した方は「2-2」へ、④と回答した方は「2-4」へお進みください。

2-2 「在宅避難」の場合、水害と地震とでは在宅可能な条件が異なる(違う)ことは知っていますか?

- ①知っている      ②知らない



2-3 在宅避難の生活で、以下の場合に不安に思う程度を教えてください。

	非常に不安	まあまあ不安	不安に思わない	考えたことがない
①ライフライン（電気、ガス、水道）の停止	1	2	3	4
②ライフラインが停止した状況下でのトイレ	1	2	3	4
③水や食料の確保が難しくなること	1	2	3	4
④生活必需品（水や食料以外のトイレトペーパーや生理用品、オムツなど）の確保が難しくなること	1	2	3	4
⑤暑さ、寒さへの対応	1	2	3	4
⑥自分にとって必要な情報が得られず取り残されること（周りの状況がわからない不安）	1	2	3	4

2-4 災害時の避難行動についてお聞きします。

避難しようと動き出すために、あなたが判断基準にするものはどれですか。（〇は3つまで）

- ①テレビの避難指示情報 ②テレビや携帯のニュース ③携帯の防災アプリ ④Jアラート  
 ⑤SNSの情報（Twitter など不特定多数から発信される情報） ⑥市町の防災メール ⑦防災無線  
 ⑧近所・町会、地域の呼びかけ ⑨友人  
 ⑩自宅の周りの状況（雨の降り方などの様子をみて） ⑪その他（ ）

※Jアラートとは…緊急地震速報、津波警報、気象警報、弾道ミサイル情報などの緊急状法を全国に瞬時に伝達するシステム

2-5 避難所についてお聞きします。

避難所での生活で、不安に思う程度について教えてください。

	非常に不安	まあまあ不安だ	不安に思わない	考えたことがない
①子どもが泣いた時の周りの反応	1	2	3	4
②子どもをのびのびと遊ばせる場所があるか	1	2	3	4
③安心して授乳できる環境があるか	1	2	3	4
④アレルギー対応の食事や離乳食は準備してあるか	1	2	3	4
⑤支給される物資に、月齢にあったおむつや子ども用おやつがあるかどうか	1	2	3	4
⑥温度環境（暑さ、寒さに耐えられるか）	1	2	3	4
⑦安心して自分のペースで睡眠や休息が取れるか	1	2	3	4
⑧感染症（新型コロナやノロウイルス、インフルエンザ他）にかかる可能性があること	1	2	3	4
⑨トイレの使用やプライバシーなど、人としての尊厳が守られないこと	1	2	3	4
⑩子どもを一時的に預けることができるなど、手助けが欲しい時に頼むことができるか	1	2	3	4
⑪ペットの居場所はあるか	1	2	3	4

### 3. 災害への備えについて

3-1 家庭での家族の生活用備蓄についてお聞きします。

\* 「C準備していない」の場合はその理由についてもお答えください。(あてはまる番号全てに○)

	A.3日分	B.1週間分	C. 準備していない			
			C-1 金銭的理由	C-2 保管場所がない	C-3 時間の余裕がない	C-4 面倒だ・必要性を感じない
①食料・保存食・乳幼児用含む	1	2	3	4	5	6
②飲料水	1	2	3	4	5	6
③カセットコンロ・カセットボンベ	1	2	3	4	5	6
④石油ストーブ・灯油	1	2	3	4	5	6
⑤衣類・下着・寝具・タオルなど	1	2	3	4	5	6
⑥衛生用品(トイレペーパー・生理用品・オムツなど)	1	2	3	4	5	6
⑦携帯トイレ・災害用トイレキット	1	2	3	4	5	6
⑧電池や携帯電話充電器・バッテリーなど	1	2	3	4	5	6

⑨他におすすめの備蓄や特に意識していることがあれば教えてください。

(

3-2 災害への準備について伺います。

あてはまることに○をつけてください。

\* 「B準備していない」の場合はその理由についてお答えください。(あてはまる番号全てに○)

	A. 何らかの準備をしている	B.準備をしていない			
		B-1 金銭的理由	B-2 時間の余裕がない	B-3 知らない・やり方がわからない	B-4 面倒だ・必要性を感じない
①家族との連絡方法を定める	1	2	3	4	5
②自宅から避難する方法、場所、経路を決める	1	2	3	4	5
③幼稚園や保育園、小学校に通う子どもの引き取り方法を決める	1	2	3	4	5
④非常持ち出し品の用意	1	2	3	4	5
⑤家具が倒れないように固定する	1	2	3	4	5
⑥災害に関する情報をインターネットやニュースでチェックする	1	2	3	4	5
⑦お住いの地域の防災情報マップやハザードマップの確認	1	2	3	4	5
⑧自宅の耐震化をする	1	2	3	4	5

⑨特に不安に思うこと、知りたいことについて教えてください。

(

)

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただきましたアンケート用紙は 12月15日までに回収箱に入れるか、返信用封筒にて郵送をお願いいたします。

※本アンケートに関するお問い合わせがございましたら下記までお願いいたします。

合同会社カノン（Instagram：kanon\_llc0112  
メールアドレス：[info@kanon-llc.com](mailto:info@kanon-llc.com)）

調査委託元 公益財団法人いしかわ女性基金 電話番号 076-234-1112

